

小松市地域女性活躍推進事業(つながり型)【石川県小松市】

地域の実情と課題

転勤等により転入される方や子育て、介護等により、地域のコミュニティとの接点が少ない女性は、社会から孤立しやすく、不安を抱えている。このような女性が、地域等のつながりができ、気楽に立ち寄ることができる女性のための相談窓口や、寄り添いながら支援するための居場所が必要である。更には、関係機関と連携して支援し、相談員を養成することで、継続可能な体制を築いていく必要がある。

事業の特徴

- 女性のための無料相談「女性のための暮らしの保健室」を設置（平日10時～16時）
- 居場所づくり「あったかカフェ」の開催（毎週火曜日）
- 相談支援員のスキルアップ研修の開催（2回/年）
- 関係者連絡会の開催

事業の効果

- 不安を抱える女性の早期発見や孤立を防止
- あったかカフェの利用者が、相談支援に結びつき、当初想定していた利用人数を遥かに超えた。
(居場所づくり利用者数：当初想定40人→実績108人)

目的・目標

子育てグループや、子ども食堂、フードバンク等を行っている民間団体、医療機関、社会福祉法人、民間企業、地域包括支援センター、発達支援センター、高齢者総合相談センターに周知を図ると共に連携し、活用を促すもの。

※主な目標

- ・連携団体数 20団体

連携団体

小松市女性サポート連絡会（市役所内：長寿介護課、ふれあい福祉課、いきいき健康課、こども家庭課、暮らしあんしん相談センター、地域振興課）など。

今後の課題

- 現在のあったかカフェの利用者は、経済的な不安を抱える女性より、子育てや心身に関する相談支援が多いことから、持続可能な相談体制を構築していくためにも、カフェ利用（飲食を提供）の方には、食材費の一部を負担していただくなど、今後の在り方を検討する必要がある。

事業の概要

- 無料相談（11月～3月）
月～金曜日（祝日を除く） 10：00～16：00
相談者数：62人（20～80代）
相談手段：対面、電話
主な相談：健康、子育て、認知症、介護他
相談経路：本人、家族、あったかカフェ他

- あったかカフェ（12月～3月：14回開催）
毎週火曜日（祝日は除く） 10：00～16：00
参加者数：108人

【実施内容】

- ・毎月第1・3・4火曜日は手作りおやつと飲み物を提供
- ・第2火曜日 12月・1月：あったかスープとおにぎりの提供
2月：講話「食べ物を体に取り込むのは何のため？」（zoom）、
焙煎もち米スープ作り
3月：講話「生きるために必要な酸素を取り込むために」、
小松菜とあさりのポタージュとちぎりパン作り他

講師:薬剤師・フードスペシャリスト 崎川 万樹子氏



相談支援員のスキルアップ研修の開催

- ①相談支援を行う人のためのスキルアップ講座（入門編）
【3月12日】 ※参加者15人
・電話での相談対応の基本について（講話とグループワーク）
講師：社団法人金沢こころの電話 理事 福島真紀
・女性のための暮らしの保健室について
一まちの小さな居場所づくりー
- ②アピランスケアを語る会
「がんになっても自分らしくいるヒントを学び合うカフェ」
【3月21日】 ※参加者数15人

関係者連絡会の開催

- ①ケース会議
・市役所や高齢者総合相談センターから相談があった方など、支援が必要な方について連携会議を開催。
- ②小松市女性サポート連絡会
こども家庭課、くらしあんしん相談センター、いきいき健康課、長寿介護課、ふれあい福祉課、地域振興課